



かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。

2010 かすり織元バスハイク

久留米絣織元を訪ね、歴史と伝統を学び、筑後のワイナリーを楽しむバスハイク

◆開催日／平成22年10月2日(土)

◆集合場所／西鉄久留米駅前 9:00出発
地場産くるめ 9:20出発

◆申込方法／お電話にて先着20名様受付

9月14日(火)より受付
(受付時間帯10:00~17:00)

※定員になり次第締め切ります。ご了承ください。

◆参加費用／2,500円(昼食代・絣を使った
絵手紙作り体験教室代含む)

※但しバス代金は地場産くるめで負担いたします

◆タイムスケジュール／

西鉄久留米駅発9時～地場産くるめ～藍生庵松枝工房～
石兆亭(昼食)～巨峰ワイン工場～紅乙女山の貯蔵庫～
フルーツパイのお店「樹蘭」～地場産くるめ(買い物・解散)～
西鉄久留米駅(17時着・解散)

昨年秋に実施しました広川の織元さんを巡るバス
ハイクは定員を上回る申し込みがあり大変好評を博
しました。

是非次回もという要望にお応えして、第2回絣織
元バスハイクを企画いたしました。今回は久留米市
田主丸町に工房「藍生庵」を構える久留米絣工芸
家、松枝哲哉さんを訪ねるバスハイクです。初秋の
耳納北麓に佇む工房を中心に、巨峰ワイン工場、
紅乙女山の貯蔵庫にも立ち寄る予定。秋の田主丸
へ自然の恵みと伝統の手仕事を訪ねてみませんか!

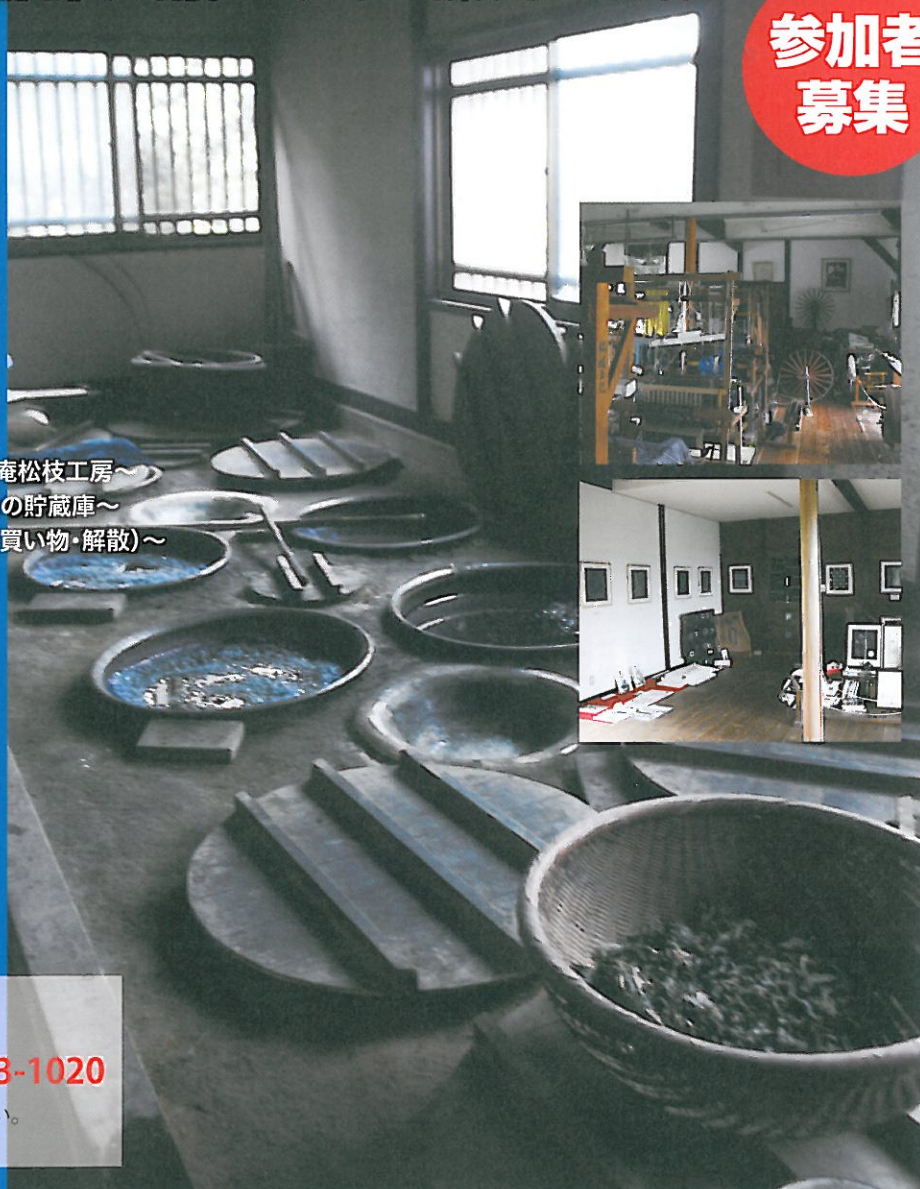
お問い合わせ・お申し込み

地場産くるめ

TEL.0942-44-3700 FAX.0942-43-1020

バスハイク参加ご希望の方は、電話でお申し込み下さい。
定員になり次第締め切ります。ご了承ください。

参加者
募集



CONTENTS

1p ・かすり織元バスハイク参加者募集

2p ・久留米かすり秘話 vol.9
『藍の魅力 その3』

3p ・かすりの小径まつり報告
・第20回広川かすり祭

4p ・かすりトピックス「新JR久留米駅ショップ」
・絣織元登場 かすり工房「藍の詩」富久織物工房
・地場産くるめ SHOP INFORMATION

シリーズ

久留米かすり秘話

VOL.9

「藍の魅力 その3」

「藍の生葉染め

古代色「水縹」^{みはなだ}と呼ばれる色合い

久留米かすりの基本となる本藍（蓼藍）は、藍の葉を発酵させ、微生物の働きによって美しい藍色を発色させる。さてこの藍の生葉を直接揉み潰し染めたらどんな色合いの染め物になるのだろうか。

藍の生葉染めは「古事記」「延喜式」にも出典があり古代人も藍を葉草としての薬効と、草木染めの一つとしてこの藍の生葉染めを日常的に使用していたようである。もちろん貴重なものであったことは言うまでもない。

命の色を育む

久留米絣工芸家の松枝哲哉氏

みはなだ 春の空色をイメージすると「ターコイズブルー」と呼ばれる色が近いのでは。生葉染めは藍染めのイメージ色「インジゴブルー」とは全く色合いが異なる。8月初旬久留米クルメリア六ツ門6階に

米市田主丸竹野にある竹野小学校で11年間、3年生の総合学習の時間にこの藍の生葉染めを通して「命を伝える」授業に取り組んでいる。夫妻が営む絣工房「藍生庵」は耳納北麓の懷にあり、その南斜面には小さな自家の藍畑がある。その藍畑を小学生達が耕し、種を植え、収穫した藍の葉で生葉染めをする。真っ白なシルクの生地を藍の生葉汁に浸け込み、数回繰り返し、真緑に染まった生地を水洗いし、天日に干すと緑色の生地が見える青みを帯びてくる、いわゆる「水縹」色に染まる。命を守る藍の葉の神秘さと美しさへの感動が小学生の心に焼き付いていく。



「筑後優品」誕生物語 序章」の展示会にて。
左から「生葉染め」「クララ染め」「藍とクララ混合染め」



藍の生葉染め「水縹（みはなだ）」

オープンした高等教育コンソーシアムで、久留米大学比較文化研究所文化財保存科学研究部会主催の「筑後優品」誕生物語序章」の展示会があった。展示会の中で研究成果として「藍の生葉染め」「クララ染め」の比較がなされており、文学部の狩野啓子教授は「これからの時代に心とからだを癒す素材としての藍に注目してます」と話される。久留米発の筑後の色として「水縹」が癒しの久留米ブルーとしてブランド化される事も期待される。



成長する蓼藍の生葉。(撮影協力 藍生庵)



展示会を主催する久留米大学の狩野啓子教授と生葉染めのスカーフ。



資料提供・取材協力／
藍生庵 松枝哲哉氏、松枝小夜子氏

2010

かすりの小径まつり 報告

去る4月24日寺町を中心に日吉町にかけて行われた「2010かすりの小径まつり」は、久留米かすりの創始者井上伝の命日(4月26日)に因んで開催されました。当日は朝10時から寺町にある千栄禅寺で受付し、スタンブラリーの台紙も配られました。千栄禅寺ではかすりファッションショーが開催され一般募集で集まったモデルさん11名がお気に入りのかすりを身にまとい会場を湧かせました。また染織家・松枝哲哉氏による講話「はじめての歌会始」は短歌への想い、そして皇居での出来事など貴重なお話を頂きました。

まつりは、遍照院庭園での記念写真、本泰寺でのかすりショップ「くくり家」も好評でした。日吉町にある旧國武餅倉庫の開放は100年以上の歴史を刻んだ建物らしく威風堂々とした建物に参加者も興味深く見入っておられました。



かすりファッションショーのモデルさんたち



かすりショップ「くくり家」



かすりワークショップ「小物づくり」



かすりショップ「くくり家」



善福寺でのかすり展示



千栄禅寺でのファッションショー



松枝哲哉氏の講話

〈メイン会場(広川かすり館内)〉

今年のみどころ!!

演 広川の伝統工芸と味わい市

久留米餅をはじめ、竹製品、トンボ玉、八女茶、茶飽、手焼きせんべい等の伝統工芸品や特産品の販売があります。出店織元の中には自社で展示会をしない工房もあり、あまり市場で目にかかれぬ貴重な絵柄に出会えるかも!

☆~20回開催記念~各店舗ごとにお買い上げ特典用意してます☆今年は飲食ブースも充実

演 餅手織体験コーナー

〈屋外特設ステージ〉

演 お楽しみ抽選会

両日開催 ☆1日2回

久留米餅の反物や地元の特産品が当たる!

演 かすりんぴく(反物巻き競争)

18日/12:30~、19日/12:00~

演 第1回「かすり小町コンテスト」

18日/本選 12:00~、表彰式 15:30~

演 ファッションショー

両日開催 14:00~

●音響ファッションデザイン専門学校の生徒さんによるファッションショー

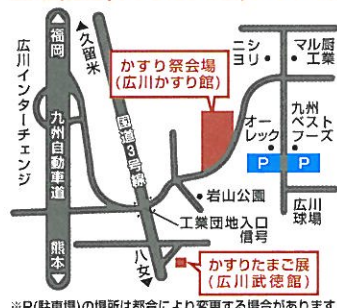
●新風ブランドのファッションショー

〈別会場/広川武徳館〉

演 「第18回 かすりたまご展」 かすり祭り会場より、無料シャトルバスが運行

広川かすり館(広川町産業展示会館)・

広川武徳館(かすりたまご展)までのご案内



【車利用の場合】高速広川インターより3分

車は工業団地駐車場へ 無料送迎バスで会場へ

【高速バス利用の場合】

福岡空港~熊本・荒尾間 広川(サービスエリア)下車

福岡(天神・博多)~熊本・荒尾間 広川(サービスエリア)下車

徒歩20分、タクシー5分

蒲池タクシー ☎(0943)32-0511

【西鉄電車利用の場合】久留米駅下車 バスセンター

①番のりばより八女行き(30)(31)番で約25分

建設学校前下車徒歩約12分

バス停より無料送迎バスで会場へ

【JR利用の場合】久留米駅下車

JR久留米駅バス停より八女行き(30)(31)番で約30分

建設学校前下車 徒歩約12分

バス停より無料送迎バスで会場へ

広川
20th
MEMORIAL

—20回開催記念—
出店各社、お買い上げ特典を
盛りだくさんご用意!

第20回
広川
かすり祭

9月18日・19日
土・日

期日 平成22年

時間 午前9時~午後5時まで
会場 広川かすり館(広川町産業展示会館)
福岡県八女郡広川町大字日吉1164-6

こころ優しき匠達の
技と味わいを...



【お問い合わせ】 広川町観光協会 / 広川町第20回かすり祭実行委員会(広川かすり館内)

〒834-0111 福岡県八女郡広川町大字日吉1164-6

TEL/FAX 0943-32-5553

<http://www.mfj.co.jp/hirokawa/>

広川町観光協会

検索

地場産くるめJR店オープン



4/3JR新久留米駅構内にアンテナショップがオープンしました。JR店限定の「焼きとりおむすび」、是非一度ご賞味下さい。



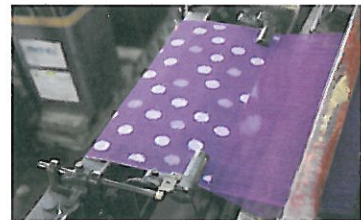
紺織元登場 創くるる



「藍の詩」富久織物工房

左より 富久 公博さん
須恵子さん
洋さん
雅美さん

八女郡広川町大字太田1236-1
TEL.0943-32-1048



戦前から四代続く織物工房の四代目の富久洋さん。終戦後久留米紺をつくりはじめ昭和50年頃は大変な忙しさだったそう。紺工房「藍の詩」では、現在3代目公博さんは力技仕事を、4代目の洋さんは技や広報を中心に幅広く活動されている。

「知る」ということ



まず、紺を「知っている」ということが大事なことではないか？その為には技術の研鑽も怠らない。久留米紺は昭和32年に文化庁から国の重要無形文化財に指定され、公博さん、須恵子さん、洋さん（雅美さんは研修生）はその会員であり技術伝承者としての活動もされています。

「知らせる」ということ

座に比べられる自信もある。それはまた工房内ですべての工程を一環して行つて「知って」いるから。機械織りのメリットも手織りの良さも「知って」いるから。これからはその強みを生かし、知っているからこそできる柄の提案などもやっていきたいそう。

お話を聞く程広がりをみせる紺の世界。たくさん課題を抱えながら信念を持ち、熱心に楽しそうに仕事をされているのが印象的でした。

紺を「知る」と同時に広く「知らせる」ことにも力を入れている。毎年福島高校の生徒さんにも機械織り体験や藍染め体験も触ってもらい、紺の良さ、手織りの良さを知らせる。実際に身につけるお客様の顔を見て紺の良さを「知ってもらおう」とことを大切にしたいそう。

地場産くるめ SHOP INFORMATION

地場産くるめショップ



紺を身にまとい、お出かけしましょ！

行楽シーズンに向けて「旅支度」の準備は万端ですか？着心地抜群の紺は移動着におすすめで、心身ともにリラックスできること間違いなし！紺のバッグも軽くて丈夫なので、旅のお供に最適です。ポシェットからボストン、リュックまで色々取り揃えています。ツバ広の帽子や紺糸で編んだマフラーなどお洒落なアイテムを身につけて、いざ出発！

TEL. (0942) 44-3700 FAX. (0942) 43-1020
HP. <http://jibasankurume.jp> 営.10:00~17:00

展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。

毎月11日は「いい日地場産の日」開催！

毎月11日は全品11%OFF (一部商品除く)

ふるさと、頑張り屋です！
地場産くるめ
財団法人久留米地域地場産業振興センター